

目次

題僉並に記念號 色紙 院長 貌下

口繪 寫眞 高祖御遺文斷片

波木井公一族と身延山……………鹽田義遜……………(一)

本佛實在を中心とせる統融的宗教……………山川智應……………(四)

新體制下における本質宗學よりの提題……………室住一妙……………(六)

本尊の本体について……………武田海正……………(六)

十如是事の研究……………執行海秀……………(一四)

ヘーゲルの宗教哲學……………里見泰穩……………(三七)

宗門の新體制と身延への希望と期待……………富川日馨……………(三九)

大火所焼時……………綱脇龍妙……………(三九)

米國佛教の現状……………青柳正法……………(三九)

興亞の基本工作……………結城瑞光……………(四一)

聖境に立ちて……………*Poyoo* 西濱行順譯……………(四一)

蒙古の喇嘛教……………不日易來……………(四一)

給仕第一精神の檢討……………中澤要實……………(四一)

絶對的現實……………幡上教妙……………(五一)

人間の標尺……………田中泰勵……………(五一)

學窓を出でゝ祖廟に參籠し「本化門下の使命」を思ふ……………小林學山……………(五一)

文藝欄

短歌……………(二六)

奉祝皇紀二千六十年……………福島義孝……………(二七)

後藤康信 上田一夫
田川惠良 鈴木美成
甲賀俊男 村貫一
辰己 紫

俳句

田村孤雪 (一七四)

詩

藤澤玄唱 (一七六)

蜜を得るには

結城一郎 (一六六)

戦塵

横山是明 (一九)

綴方教室

秋の追憶

原田見正 (二六)

母

久世寛瑞 (二七)

海

長崎湛長 (二七)

「番神問答記」隙見

齋藤貫誠 (二七)

鶴聲

細井泰行 (二八)

戒律への抗議

三技光純 (二八)

戦線より還りて

武内觀良 (二九)

悔懺

村田海仙 (二九)

學徒と大法西漸

永田壽昶 (二九)

「學び」の觀念

石川國武 (二九)

祖山學院同窓會々則

(一九)

同窓會々報

(二〇五)

各部記事

(二〇六)

校友會々報

(二〇四)

厚德寮々報

(三七)

學友會々報

(三八)

編輯後記

(三三)